

## 自分の命は自分で守る(最後の避難訓練)

1月30日(火)に第3回避難訓練を実施しました。今回は、休み時間に地震が発生した想定で実施しました。20分休み開始5分後、次のような放送を合図に訓練を始めました。

【放送】「訓練。訓練。地震が発生。安全に行動してください。」

【放送】「おさまったようです。」

【放送】「訓練。1階パソコン室から火災が発生。先生が近くにいないときは、自分の判断で、安全に避難してください。」

児童は全員、「おはしも」の合い言葉を胸に、真剣な表情で校庭に集まりました。整列後、消防士さんの話を2つ聞きました。「自分の命は自分で守りましょう。」「避難のことについて、家の人とよく話し合いましょう。」家中消防士は、能登半島地震で災害派遣されたそうです。その経験をもとに説明していただき、とても説得力のある話でした。



“おはしも”の合い言葉  
特に「お」・・・おさない  
「は」・・・はしらない  
特に「し」・・・しゃべらない  
「も」・・・もどらない

## いじめ防止子ども会議

2月8日(木)館林市いじめ防止子ども会議が行われました。これは、「各校のいじめ防止活動における具体的な実践の交流を通して、いじめを許さない態度を養う」ことを目的としております。市内各小中学校から、代表2名がオンラインで参加する形式で行われ、六小からは5年生の石丸さんと増田さんが参加しました。

班別協議は各中学校区別に行われ、三中・七小・六小の3校で話し合いました。いじめ防止のために、「個人でできること」「学級でできること」「学校全体でできること」「中学校区で統一して取り組めること」等について、熱心な話し合いが行われました。

石丸さんは、「スタンプラリーを取り入れた『あいさつ運動』を実施し、コミュニケーションがとれたら、いじめを減らせるかもしれません。」と考えました。増田さんは、「いじめは、小さな事から始まり、それに流されている自分も、もしかしたら、いじめている側になってしまうかもしれません。仲間外れや悪口、ケンカなど、少しのことだけでも『いじめ』につながる可能性があります。そうなる前に私は、止めたいと思います。そして、『いじめ』にならないよう、言葉遣いや友だちに対する行動をきちんと見極め、判断し、今後の生活に活かしたい。」と考えました。代表の石丸さん、増田さん、ありがとうございました。

## ICTを活用した授業(こんなこともできる1年生)

1月25日(木)1時間目、1年2組の算数を管理職が参観しました。大きな数の計算方法を考える勉強でした。1年生は、PCを配布されて5ヶ月しか経っていませんが、使いこなせるようになっていました。今後の成長が楽しみです。



【算数で画面を操作】



【自分の考えを説明】

# ようこそ先輩～高校生ボランティアチューター～

2月13日（火）から22日（木）まで、本校卒業生の高校3年生がボランティアチューターとして来校し、児童とともに活動しています。この事業は、「卒業後の進路が決まった高校生が、母校の小学校で活動し、社会性や望ましい勤労観・職業観の伸長を図るとともに、自己有用感や自己を生かす能力を養う」ことを目的に、平成17年度から行われています。

2週間程度と短い期間ですが、子どもたちとともに勉強や運動、遊び等にも汗を流し、元気いっぱいがんばっています。

以下、今年度のボランティアチューターを紹介します。

【氏名】藤野一男さん

【期間】2月13日（火）～2月22日（木）

【抱負】将来、教員になることを希望しています。そのためにも、事前に学校で色々な体験を試みたいと思い、参加しました。みなさん、どうぞよろしくお願い致します。



【藤野一男さん】

外国から転入し、日本語指導が必要な子どもたちが増えています。**ひらがなや簡単な漢字、文を書くなどのお手伝い**をお願いします。テキストは学校で用意します。

## 館林市立第六小学校 館林市立第三中学校

# 日本語学習支援 ボランティア募集

**日本語指導が必要な子どもたちがあなたの力を待っています**

### 支援内容

平仮名や簡単な漢字、  
文を書くなどのお手  
伝いを  
お願いします。

### 勤務内容等

都合のつく時間帯で可能です。  
日本語以外の言語が話せる必要  
はありません。

※関心のある方、ご協力いただけそうな方は  
下記にご連絡ください。大変恐縮ですが、履歴書をご用意  
いただき面接をさせていただきますことをご理解ください。

### 申し込み・問い合わせ

館林市立第六小学校 教頭 高井美智代  
館林市立第三中学校 教頭 半田美登利

☎0276-72-4060  
☎0276-72-4061